

相談援助の実務経験申告書

区分2・区分3の受験申込者で、「実務経験証明書」の職種コードが02の方は「相談援助の実務経験申告書」を提出する必要があります。該当する方は、次の記入例を参考にして作成ください。

※ 「実務経験証明書」と併せて提出してください。

記入例

申告者（受験申込者）本人が記入する欄

実務経験証明書と同じ代表者を証明者としてください。

証明権者が記入する欄

使用する
筆記具

ボールペン

「実務経験証明書」で職種コードが02の方は、「実務経験証明書」と併せて「相談援助の実務経験申告書」の提出が必要です。

区分 2

区分 3

（職種コード02の方）

相談援助の実務経験申告書

〈申告者（受験申込者）本人が記入する欄〉

公益財団法人社会福祉振興・試験センター 様

作成日 令和 8 年 9 月 11 日

フリガナ タ ナカ ジ ロウ
申告者氏名 田 中 次 郎

私の精神保健福祉に関する相談援助の実務経験は、精神保健福祉士試験受験資格に係る指定施設における相談援助の実務経験に該当すると思われるので、所属長等の証明を添えて申告いたします。

1. 常勤・非常勤の区分（いずれかに☑）
☒ 常 勤
☐ 非常勤（労働時間が当該施設の常勤者のおおむね4分の3以上の者に限る）

2. 業務内容（該当する事項に☑、複数選択可）
☒ ①精神障害者の相談
☒ ②精神障害者に対する助言、指導
☒ ③精神障害者に対する日常生活への適応のための必要な訓練
☒ ④精神障害者に対するその他の援助（その他 _____）
☒ ⑤援助を行うための関係者との連絡、調整等
（裏面の「相談援助の業務」を参照し、年間を通じた勤務時間の概ね5割以上に従事している場合に、①～⑤の該当項目を選択すること）

3. 活動事例（主なもの1～2例）
「2.業務内容」で選択した相談援助業務について、主な活動事例を記入してください

(1)対象者の概要（年齢： 36 歳、疾患名 統合失調症）
(2)活動内容

就労に関する相談援助を提供している。対象者は、一般企業への就職を希望しているため、就労に必要とされる知識や能力を高めるための訓練をはじめ、本人に適した就職先の紹介や、生活面に関する相談及び助言等を行っている。その他、就労後の職場定着を図るための支援を行っている。

（注）当欄に書ききれない場合、「別紙のとおり」と記入し、別紙（A4サイズ、様式自由）を添付すること。

該当する業務①～⑤に☑をしてください。（複数選択可）
その他の場合は、業務内容を記入してください。

〈証明権限を有する代表者が記入する欄〉

申告者本人が記入した内容について間違いのないことを証明します。また、次の内容について、確認しました。

法人名	社会福祉法人 厚生会	
代表者	役 職 理事長	氏 名 山田 幸子

確認事項 「実務経験証明書」及び「相談援助の実務経験申告書」の証明にあたり、下記の全ての基準等を満たすことを確認しました（該当する事項に☑）

☒ 当該職種に係る業務が、当該施設の定款、実施要領等において明記された各種の精神保健福祉に関する相談援助業務であること。
☒ 申告者は、指定施設における業務の範囲等について（障発0805第4号 平成23年8月5日）の1から4に掲げる職種の例と同等以上の精神保健福祉に関する相談援助業務を行っている相談員であること。（相談援助業務とは、裏面の「相談援助の業務」を参照）
☒ 申告者の精神保健福祉に関する相談援助の業務に従事した期間（「実務経験証明書」の従業期間）は、指定施設における業務の範囲等について（障発0805第4号 平成23年8月5日）の1から4に掲げる職種の例と同等以上の相談援助業務を行っている相談員として、当該施設又は事業所と雇用関係を有し常勤（労働時間が当該施設の常勤者のおおむね4分の3以上である者を含む。）に従事した期間を通算して計算したものであること。
☒ 申告者の活動事例（主なもの1～2例）は、事実に基づく内容であること。

（注） この申告書は、指定施設における業務の範囲等について（障発0805第4号平成23年8月5日）における実務経験申告書に基づく様式です。
（注） この申告に不実・錯誤した内容を記載した場合、及び精神保健福祉士国家試験の受験資格を得るために必要な基準等を満たさない場合は、受験資格を認められません。

定款、実施要領の他、事業、業務の根拠となる条例、要綱及び自治体からの委託契約書等、精神保健福祉に関する相談援助業務であることを確認できるものを含みます。

内容を確認のうえ☑をしてください。☑がない場合、受験資格を認められません。